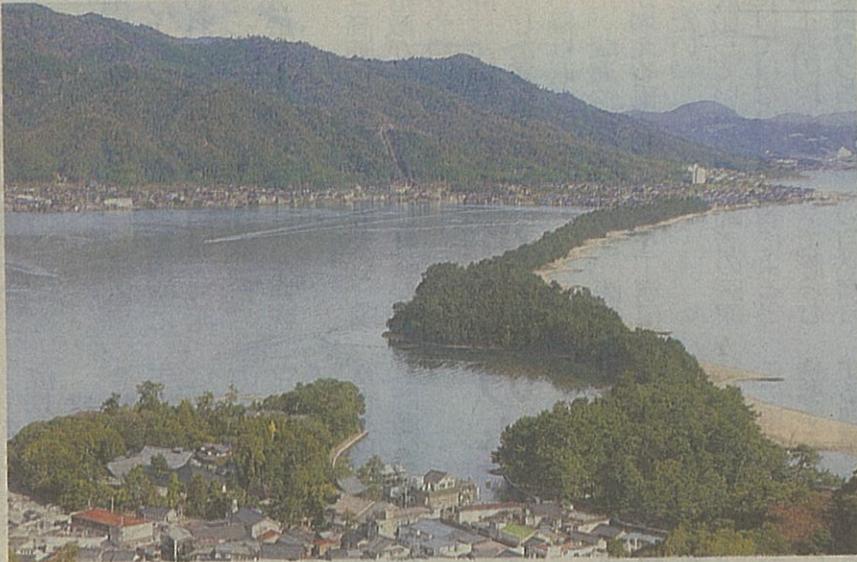


天橋立 重文景観に



文化審議会が重要文化的景観選定を答申した
天橋立と、奥側の府中地区(宮津市文珠)

文化審答申 府内2番目

国の文化審議会(宮田亮平会長)は15日、宮津市の「宮津天橋立の文化的景観」と米原市の「東草野の山村景観」を重要文化的景観に選定するよう下村博文文化庁科学相に答申した。同景観の選定は全国で43件となり、天橋立は京都府で2番目、東草野は滋賀で4番目の選定となる。(5、25、26面に関連記事)

舟屋、成相寺含め



日本三景の一つで特別名勝の「天橋立」を中心とした重要文化的景観の選定範囲は、周辺海域と北側の府中地区を合わせた計1105秒分。天橋立とともに地域の信仰の対象になってきた成相寺や溝尻の舟屋の景観なども構成要素に加えた。

米原市の東草野は、滋賀県の風景地(10県13カ所)な北東部の姉川上流の4集落にまたがる2365秒。西日本の屈指の豪雪地で、カイタレと呼ばれる長いひさしを備える

「おくのほそ道」は名勝

民家や、麻織りや石臼づくりといった冬季の副業の発達など、豪雪に対応した生活や生業、習俗を含めて選定された。

重要文化的景観は、人々の生活と地域の産業が一体的に保存されてきた景観地を国が選定し、伝統的な景観の保全につなげる。京滋では「宇治」(宇治市)、「水郷」(近江八幡市)、「針江・霜降の水辺」と「海津・西浜・知内の水辺」(高島市)の計4件が選定されている。

また、史跡では滋賀で雪野山古墳(近江八幡市、東近江市、竜王町)が新たに指定される。京都では、長岡宮跡(向日市)と天安寺旧境内附石橋瓦竈跡(井手町など)の周辺面積が拡大し、追加指定される。

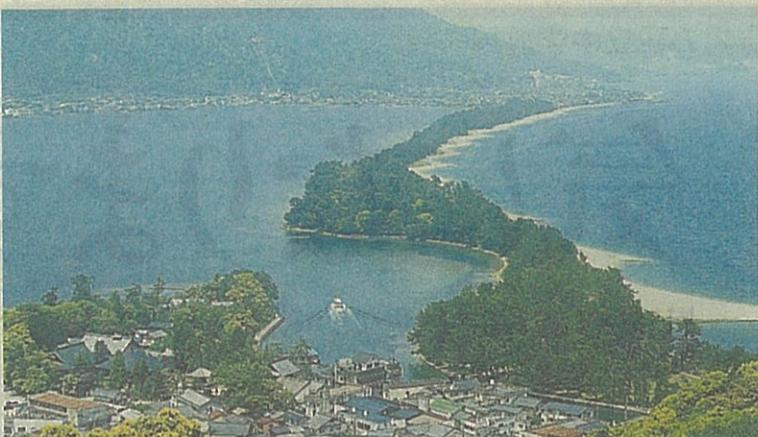
全国では、「おくのほそ道の風景地」(10県13カ所)など2件を名勝に、吉野川中流の「大歩危」(徳島県)など3件を天然記念物とするよう求めた。(仲屋聡、森山敦子)

天橋立、重要文化的景観に

文化審答申 宇良神社は文化財

国の文化審議会は15日、宮津市の特別名勝・天橋立や周辺地域などから構成される景観を、「重要文化的景観」に選定するよう文部科学相に答申した。府内の重要文化的景観は「宇治の文化的景観」（2009年選定）に次いで2件目。

「宮津天橋立の文化的景観」舟屋景観や、西国三十三所「観音霊場第28番札所の成相寺」などが含まれる。天橋立を中心とした陸域・海域の約1106ヘクタール。溝尻の当地には丹後国の国府が



天橋立やその周辺の景観が「重要文化的景観」として答申された。宮津市

置かれたとされ、古代から中心地として栄えた。中近世には信仰の地として、現代には日本有数の行楽地として発展。こうした歴史的背景と、宮津湾や阿蘇海で営まれる農業や漁業など土地利用のあり方が、独特な文化的景観を形成していると評価された。

「世界遺産に弾み」地元

宮津市の天橋立と周辺地区を、国の重要文化的景観に選定する答申が出されたことに、地元からは「世界遺産登録に弾みがつく」と期待の声がある。

天橋立は、府が2006年、世界遺産登録に応募したが文化庁の暫定リストから漏れた。その後、府が文化的価値を再度訴えたところ、リスト入りの次点と位置づけられた。府は世界遺産登録の可能性検討委員会をつくり、調査やシンポジウム開催などを続けている。地元も商工会議所が中心となって「天橋立を世界遺産にする会」を設立し、海岸の清掃などアピールに力を入れる。今春、京都縦貫自動車道と名神高速道路がつながり観光客は増えており、外国人客も訪れる。井上正嗣・宮津市長は「市民あげて世界遺産登録を目指している天橋立が選定を受けたことは大変意義深い」と歓迎した。（田中昭宏）

府内の建造物16件についても、登録有形文化財にするよう答申された。

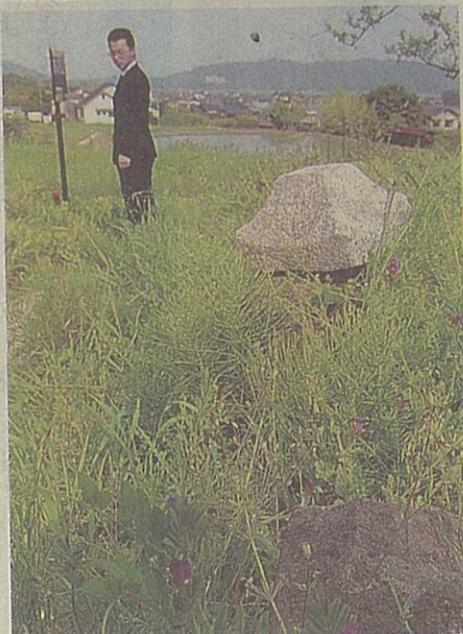
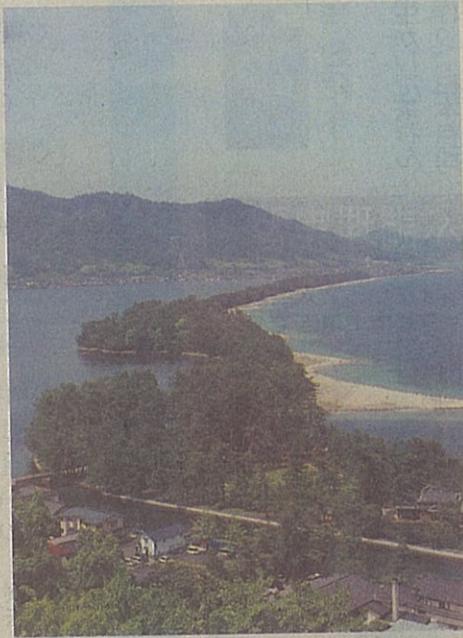
うち、落柿舎(右京区)は、江戸時代の俳人・向井去来の庵で、松尾芭蕉の「嵯峨日記」の舞台ともなった。現在の建物は江戸後期、去来の没後に再建されたもの。ほかに、最も起源の古い浦島伝説が伝わる宇良神社(伊根町)の本殿や、拝殿と中殿なども含まれる。

- また、長岡宮跡(向日市)など2件で、調査が済むなどした場所を史跡に追加指定するよう答申された。
- 【登録有形文化財】青木家住宅主屋、表門(北区)▽西川家住宅主屋、土蔵(左京区)▽吉田家住宅主屋(中京区)▽旧村西家住宅主屋、土蔵(同区)▽旧武田家住宅主屋(下京区)▽落柿舎(右京区)▽大本みろく殿(綾部市)▽雙栗神社拝殿、本殿門、玉垣、石鳥居(久御山町)▽宇良神社本殿、拝殿及び中殿(伊根町)
- 【史跡の追加指定】長岡宮跡(向日市)▽大安寺旧境内附石橋瓦窯跡(井手町)
- 【重要文化的景観】宮津天橋立の文化的景観
- (佐藤剛志)

府関連の答申は以下の通り。

国の文化的景観に宮津・天橋立と街並み

海山暮らし調和



①国の重要文化的景観に選定を受けた天橋立。周辺の暮らしと美しく調和する点が評価された。宮津市文珠の玄妙庵から雪舟の天橋立図の古道復元に取り組み府中地区。草刈りをする石塔が現れ、中世の歴史がよみがえった。宮津市小松で

宮津市の天橋立と周辺の街並みなどが15日、国の文化審議会(宮田亮平会長)で重要文化的景観への選定を答申された。府内では「宇治の文化的景観」に次ぎ2例目となる。「宮津天橋立の文化的景観」に選定される

のは宮津市文珠地区の特別名勝・天橋立の砂州部分と、同市府中地区の併せて1105.9畝。うち419.5畝を海域が占める。丹後国府など古代からの中心地機能を示す土地利用と、農村と漁村が複合した独特の

跡(向日市)で約2700平方メートル、大安寺旧境内石橋瓦窯跡(井手町)で約2900平方メートルを追加指定するよう答申があった。建造物では、落柿舎(右京区)、大本みろ殿(綾部市)、宇良神社本殿・拜殿及び中

殿(伊根町)など16件が有形文化財に新登録するよう答申された。【榊原雅晴】

「住む価値に気づいた」

府中地区 住民らに大きな喜び

天橋立の松並木だけでなく、豊かな自然に囲まれた暮らしが「重要な文化的景観」に認められた。宮津市の府中地域でまちおこしに関わると、豊かになる」と喜び。雪舟の国宝「天橋立図」に描かれた古道の復元が始まったのは2年前。「府中をよくする地域会議」が地権者らに呼び掛けて草を刈ると、中世の戦乱で消失した寺の石塔が次々と現れた。郷土史を巡るガイドウォークが企画され、休耕地が再び里山としてにぎわい始めた。同会議事務局の森美忠さん(47)は「住んでいる場所の価値に気づくことができた」と話す。

同市溝尻の阿蘇海浴いには舟屋が並び、マイワシ漁でにぎわった「里海」の暮らしが残る。祖父が漁師をしていた城崎雅文さん(42)は「初めはピンと来なかったが大学教授らの話を聞く中で意識が変わった。舟屋をどう保全していくのか、住む者が中心になって考えたい」と話した。

【安部拓輝】

天橋立 国重文景観に

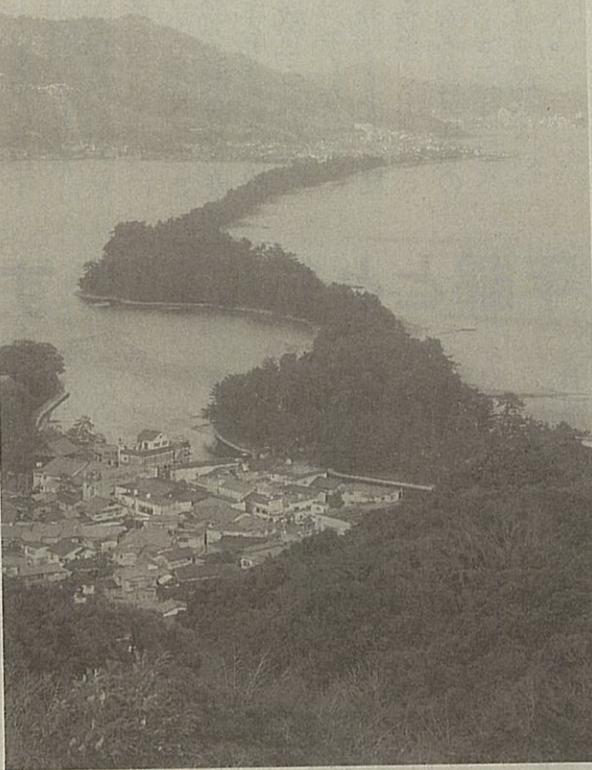
世界遺産登録に弾み

国の文化審議会が15日に文部科学相へ行った答申で、府内では日本三景の天橋立と周辺地域（宮津市）が、重要文化的景観に選ばれた。来年初旬に正式決定される見通しで、府内では2009年に選ばれた宇治川一帯（宇治市）以来、2か所目。宮津市では世界遺産登録を目指す活動が進められており、地元では「これまで以上に発信力が高まる」と喜びの声が広がった。

（酒本友紀子、中山亨一）

文化審答申

府中地区、阿蘇海含む1105ヘクタール



重要文化的景観は、人々の生活や地域特有の風土によって形成された文化的価値が高い景観を指す。04年に制度化され、選定地の保存活用事業に対し、国が補助を行う。今回答申されたのは、国の特別名勝でもある天橋立や、その北西側の府中地区、周辺海域の計1105・9ヘクタールで、名称は「宮津天橋立の文化的景観」。北西側にある成相山には西国三十三観音霊場第28

▲重要文化的景観に選定されるよう答申された天橋立（宮津市で）

舟屋、信仰、農漁業の多様性



舟屋が立ち並ぶ阿蘇海北岸（宮津市提供）

番札所の成相寺があり、天橋立で宮津湾と仕切られた内海「阿蘇海」の北岸には1階が船の倉庫、2階が住居の舟屋約40棟が独特の景観を作り出している。

天橋立周辺は、古代に丹後国府があったと推定され、神仏の信仰地や観光地として発展。多様な歴史性に加え、一帯で営まれる農漁業が地域色豊かな文化的景観を生み出し

していると評価された。

天橋立の世界遺産登録を目指す地元では、歓迎の声が相次いだ。

府中地区にある籠神社の禰宜・海部毅成さん（46）は「遠い昔から神々をまつた伝承が残る当社が続いているように、地域には歴史の深さを感じられる。これを機に、さらに多くの人が訪れることを期待している」と喜んだ。

井上正嗣市長も「世界遺産登録に向けても意義深い。市の歴史や文化をいかした魅力ある地域づくりの弾みにした」とコメントした。

市は今後、土産物店などが並ぶ天橋立南側の文珠地区一帯について、文化的景観の追加選定を申し出る計画で、世界遺産登録に向けた機運も同時に高めたい考えだ。

登録文化財は16件

答申ではこのほか、▽吉田家住宅主屋（中央区）▽落柿舎（右京区）▽大本みろく殿（綾部市）▽雙葉神社拝殿（久御山町）など16件を登録有形文化財に新登録するとした。

天橋立 全長約3・6キロで、約8000本の松並木と砂浜は「白砂青松」とたたえられ、宮島（広島県）、松島（宮城県）と並び日本三景に数えられる。近くの山頂にある公園で、両足の間から景色を眺める「股のぞき」も有名。今年、タイヤメーカ「ミシユラン」から「二つ星」の評価を受け、府北部の景勝地として初めて、同社のフランス語旅行ガイドに掲載された。